

ラトビア月報

【2021年7月】



2021年（令和3年）8月発行

在ラトビア日本国大使館

<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

主な内容

【政治】 (P. 1)

【経済】

- ・ EU 経済・財務理事会はラトビアの復興計画を承認 (P. 1)

【外交】

- ・ 茂木外務大臣のラトビア訪問 (P. 2)

【その他】

- ・ 東京オリンピック：ラトビアは3X3 バスケットボールで金メダル、重量挙げ 109 kg級で銅メダル獲得 (P. 8)

※「ラトビア月報」は、ラトビアにおける政治・経済状況等について、ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料（原則として該当月の月末までの情報）を取りまとめたもので、在ラトビア日本国大使館の見解を述べたものではありません。月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

— 政治 —

◆6月の政党支持率

7月3日、ラトビアテレビは、民間調査会社「SKDS」が実施した支持政党に関する6月の世論調査結果を公表した。同調査の結果、「調和」が支持率第1位（12.1%）を維持し、「緑と農民連合」（9.4%、前5月調査では第3位）、「ナショナル・アライアンス」（9.3%、前月調査では第2位）、そしてカリンシュ首相が所属する「新・統一」（7.2%、前月調査でも第4位）が続いた。6月2日の連立再編によって連立与党を離脱した「KPV LV」の支持率は、前月及び前々月等につき、1%に満たなかった。

政党名 (%、括弧内は前回の国会選挙の得票率)	支持率 (%、括弧内は2021年5月の値)
「調和」(19.80)	12.1 (10.3)
「KPV LV」(14.25)	0.6 (0.8)
「新保守党」(13.59)	3.7 (4.7)
「発展・For！」(12.04)	5.6 (4.9)
「ナショナル・アライアンス」(11.01)	9.3 (8.0)
「緑と農民連合」(9.91)	9.4 (7.7)
「新・統一」(6.69)	7.2 (6.6)
「ラトビア地域連合」(4.14)	2.7 (1.9)
「ラトビアのロシア連合」(3.20)	3.4 (3.6)
「進歩党」(2.61)	4.3 (3.7)
「法と秩序」(※2021年1月立ち上げ)	3.3 (3.2)

(政党は上から2018年10月に実施された第13回国会選挙で獲得票数が多かった順)

— 経済 —

【今月の注目記事】

◆EU 経済・財務理事会はラトビアの復興計画を承認

7月13日、EU 経済・財務理事会 (ECOFIN) は、EU の新たな予算プログラムである復興・強靱化ファシリティを利用して実施される、18.2 億ユーロ規模のラトビアの復興計画を承認した。資金利用に関する合意は8月に署名される予定。同計画に含まれる政策を通じ、構造改革及び社会・人材育成策の導入による経済のグリーン化・デジタル化が促進されることが期待されている。同計画はまた、高等教育改革、研究開発投資の促進、デジタル・スキルの向上等に焦点を当てている。

◆2021年6月の消費者物価上昇率は2.7%

7月8日、中央統計局は、2021年6月の消費者物価上昇率が対前年同月比2.7%（前月

比では0.3%)だったと発表した。部門別では、運輸部門(8.3%)、特に、燃料費(19.9%)、衣服・履物類(4.0%)及び医療・保健サービス(2.8%)などで物価の上昇が見られた一方で、教育関連(-0.1%)等は物価が下落した。

◆2021年上半期のリガ国際空港の利用者数は前年同期比69%減

7月8日、リガ国際空港関係者は、2021年上半期のリガ国際空港の利用者数は前年同期比69%減、2年前同期比では86%減の約40.58万人(うち乗り継ぎ客は8.7万人)となったと発表した。また、2021年上半期の便数は前年同期比61%減、2年前同期比72%減の11,443便となった。現時点で、リガ国際空港からの就航先は83都市であり、10月までに95都市に増加する予定。

◆2021年6月末の失業率は7.4%

7月9日、国家雇用庁は、2021年6月末の失業率は前年同月末比1.2%ポイント減の7.4%であったと発表した。地域別では、リガ地方が5.6%(1.3%ポイント減)で最低となり、ビゼメ地方が7.3%(0.9%ポイント減)、ゼムガレ地方が6.9%(1.3%ポイント減)、クルゼメ地方が7.6%(1.6%ポイント減)、ラトガレ地方が15.8%(0.2%ポイント減)で最大となった。また、同庁に登録された失業者は67,307人(10,959人減)となった(括弧内は2020年6月末比)(※前年同月末比は全て当館算出)。

◆2021年第2四半期のGDP成長率は前期比3.7%増(暫定値)

7月29日、中央統計局は、2021年第2四半期のGDP成長率(暫定値)は前期比3.7%増(季節調整値)、前期比年率では15.6%増(季節調整値)(注:当館試算)、前年同期比10.3%増(原数値)であったと発表した。前年同期比では、製造業(6.7%増)やサービス業(11.3%増)等が増加に寄与した。詳細データは8月31日に発表される予定。

— 外交 —

【今月の注目記事】

◆茂木外務大臣のラトビア訪問

7月1日・2日、茂木外務大臣は、日本の外務大臣として初めてラトビアを訪問(公式訪問)し、カリンシュ首相を表敬訪問し、リンケービッチ外務大臣と会談したほか、自由記念碑での献花及び同記念碑脇の緑地内での日・ラトビア友好100年を記念した植樹を行った。日・ラトビア外務大臣会談後には、日ラトビア外務大臣共同声明を発出した。

～ 日・ラトビア外務大臣会談の概要 ～

①茂木大臣から、日ラトビア友好100周年の節目に日本の外務大臣として史上初のラトビア訪問を実現でき嬉しく思う、基本的価値を共有するパートナーであるラト

ビアとの関係を重視している旨、発言。ラトビア側からは、茂木大臣の訪問に歓迎の意を表し、友好100周年を機に日本との良好な関係を更に発展させていきたい旨を発言。

②双方は、エネルギー分野における日本企業のラトビアへの投資など協力の進展を評価するとともに、今次訪問及び本年の友好100周年を機に、政治、経済、文化など幅広い協力関係を一層進展させることで一致。

③茂木大臣から、欧州大陸電力ネットワークへの接続事業など、ラトビアを含むバルト三国の広域インフラ事業に、高い技術力を持つ日本企業が更に貢献できると考えている旨述べ、両大臣は、このような欧州統合強化に資する協力を進めていくことで一致。また、茂木大臣から、EUによる日本産食品の輸入規制について、撤廃に向けた協力を要請。

④茂木大臣から、4月の「インド太平洋における協力のためのEU戦略」を、EUのインド太平洋への関与の強い意思として歓迎するとともに、「自由で開かれたインド太平洋」に向けEUとの協力を進めていきたい旨述べ、リンケービッチ大臣は「自由で開かれたインド太平洋」の実現への力強い支持を表明。

⑤東アジア情勢について、双方は、海警法を含む東シナ海・南シナ海における力による一方的な現状変更の試みの継続・強化、香港・新疆の状況に対する深刻な懸念を共有し、基本的価値を共有する同志国が結束して、ルールに基づく自由で開かれた国際秩序を維持・強化していくことの重要性について一致。双方は、北朝鮮の全ての大量破壊兵器及び弾道ミサイルの完全な、検証可能な、かつ不可逆的な廃棄に向け、安保理決議の完全な履行を確認するとともに、茂木大臣から、拉致問題の即時解決に向けた理解と協力を求め、ラトビア側の支持を得た。また、双方は、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ等の情勢に加え、日 NATO 協力についても意見交換。

⑥ラトビア側から、東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催への支持を表明。

◆レヴィッツ大統領のオーストリア訪問

6月30日から7月2日、レヴィッツ大統領は、オーストリアを訪問し、気候変動に関する国際会議「オーストリア世界首脳会議2021」に出席したほか、ファン・デア・ベレン・オーストリア大統領と会談し、オーストリア憲法裁判所を訪問した。レヴィッツ大統領は、ファン・デア・ベレン大統領との会談において、ラトビア・オーストリアの外交関係100年及び外交関係再開30年を互いに祝った。またレヴィッツ大統領は、ファン・デア・ベレン大統領に対し、オーストリア世界首脳会議2021の開催を称えたほか、三海域イニシアティブは気候変動問題について両国が協力できる共通のプラットフォームであるとした。さらに、欧州が直面する安全保障上の問題に関し、レヴィッツ大統領は、先般のNATO首脳会合（於：ブリュッセル）の成果について語った。

◆カシス・スイス副大統領兼外務大臣のラトビア訪問

7月5日、カシス・スイス副大統領兼外務大臣がラトビアを公式訪問し、レヴィッツ大統領、ムールニエツェ国会議長、リンケービッチ外務大臣等とそれぞれ会談した。レヴィッツ大統領は、リガ城（大統領官邸）で表敬を受けた際、ラトビア・スイス間の法律上の（de jure）関係100年及び外交関係回復30年に言及し、歴史的に良好な二国間の政治・経済関係を強調した。ムールニエツェ国会議長は、国会内での面談において、両国の国会議員の活発な協力を称賛したほか、ウクライナ情勢に言及し、ラトビアはウクライナの改革を後押しし続けると強調した。リンケービッチ大臣は、ラトビア・スイス外務大臣会談において、二国間の緊密かつ長きに亘る協力関係を指摘し、二国間関係、最近の国際情勢、EU・スイス関係等について意見を交わした。

◆ヴァルツィオティス・ギリシャ外務大臣代理のラトビア訪問

7月6日、ヴァルツィオティス・ギリシャ外務大臣代理がラトビアを実務訪問し、リンケービッチ外務大臣及びカルニニャールカシェヴィツァ外務政務官と会談した。会談では、二国間関係における友好的かつ建設的な対話、またビジネス面でのやりとり及び国際機関での協力の強化の必要性について意見が一致した。東方パートナーシップに関する議論において、カルニニャールカシェヴィツァ外務政務官は、同パートナーシップの政治的役割が強化・維持されなくてはならないと強調し、東方パートナーシップ諸国はEU加盟に向けた鮮明な長期的展望を示されるべきであると指摘した。

◆ラトビア・カナダ外務大臣会談

7月6日、リンケービッチ外務大臣は、リトアニアのビリニウスにおいて、ガルノー・カナダ外務大臣と会談し、ロシア、ウクライナ及びベラルーシの動向を含む地域情勢等について意見を交わした。リンケービッチ大臣は、ラトビアに駐留するNATOの拡大された前方プレゼンス部隊を主導するカナダは地域全体の安全保障強化に非常に重要な役割を果たしていると強調するとともに、2023年以降も（カナダの）プレゼンスが延長され、部隊の主導が続けられることが重要であると指摘した。

◆リンケービッチ外務大臣の第4回ウクライナ改革会議出席

7月7日、リンケービッチ外務大臣は、ウクライナ改革会議(Ukraine Reform Conference)（於：ビリニウス）に出席した（ウクライナ改革会議：2017年以降、4年連続で開催。ウクライナの政府高官及びウクライナのパートナー等が改革プロセスの状況を話し合い、更なる改革に向けた意見交換を実施）。同大臣は、「ラトビアは、ウクライナが、ロシアによる侵攻や領土の一部に対する違法占領にさらされているにもかかわらず、尊厳の革命以降継続している改革の取り組みやその進展を歓迎する」、「ウクライナにとって、まだ先の道のりは長い、我々はこれまでに実施された多くの改革を称賛しなくてはならない」と述べた。

◆サンチェス・スペイン首相のラトビア訪問

7月7日、サンチェス・スペイン首相がラトビアを公式訪問し、カリンシュ首相及びムールニエツェ国会議長とそれぞれ会談する等した。カリンシュ首相は、二国間関係について意見を交わし、NATOの拡大された前方プレゼンス部隊への人員並びに技術面での貢献及びバルト領空警備への定期的参加を通じた、バルト地域の安全保障強化におけるスペインの重要な役割を強調し、謝意を伝えた。また、特に付加価値の高い分野における二国間の経済関係の拡大を歓迎した。カリンシュ首相は、本件会談のほか、サンチェス首相のアーダジ基地訪問にも同行した。一方、ムールニエツェ国会議長は、EU及びNATOにおけるラトビア及びスペインの緊密な協力関係を指摘したほか、議会外交の重要性も強調し、国会議長間の活発な対話の継続及び外交及びEU関連事項の分野における国会委員会間の協力の拡大への前向きな姿勢を示した。

◆レヴィッツ大統領の第6回三海域イニシアティブ首脳会合及びビジネスフォーラム出席

7月7日～9日、レヴィッツ大統領はソフィアを実務訪問し、同月8日・9日に開催の第6回三海域イニシアティブ(3SI)首脳会合及びビジネスフォーラムに出席した。8日、三海域ビジネスフォーラムでスピーチした同大統領は、デジタル、エネルギー及び運輸の分野において、3SIがEUの北部・南部間の連結性をいかに加速させているかを強調するとともに、国際金融機関及び民間投資家に対し、3SI投資基金への参加を強く求めた。また、2022年の3SI首脳会合及びビジネスフォーラムをリガで開催する旨を発表した。9日、各国の大統領等が出席した、3SIの地政学的重要性と対象範囲に関するパネル・ディスカッションにおいて、同大統領は、欧州の団結の重要性等を強調した。その後の記者会見において、本年の開催国ブルガリアから来年の開催国ラトビアに3SIの旗が引き継がれた。

◆ラトビア・ブルガリア首脳会談

7月8日、レヴィッツ大統領は、三海域イニシアティブ(3SI)首脳会合等出席のために訪問中のソフィアにおいて、ラデフ・ブルガリア大統領と会談し、地域及び欧州全体における3SIの役割の増大、ウクライナ及びベラルーシの動向、将来のEU拡大に関するブルガリアの立場等について意見を交わした。レヴィッツ大統領は、ラトビア・ブルガリア間の良好な二国間関係及びEU並びにNATOの枠組み内での相互協力を称えたほか、「3SIは地政学的・経済的に重要な枠組みであり、バルト海・アドリア海・黒海周辺のEU加盟12か国の間の連結性を高めるものである」等と強調した。

◆リンケービッチ外務大臣のドブロブニク・フォーラム出席

7月10日、リンケービッチ外務大臣は、ドブロブニク・フォーラム(於:クロアチア、ハイレベルが出席する年次国際会議)に出席した。本年のフォーラムでは、パンデミック

(新型コロナウイルスの流行)後の地政学、西バルカン諸国、地域協力の枠組みの発展及び経済成長の促進におけるそれらの枠組みの役割に焦点が当てられた。同大臣は、経済成長・発展に関するパネル・ディスカッションに参加し、EUレベルでの緊密な協力の必要性を指摘するとともに、目標達成に向けた地域協力の重要性を強調し、地域の交通、デジタル及びエネルギーの連結性、そして環大西洋の結びつきの強化における三海域イニシアティブの役割を指摘した。

◆ラトビア・コソボ外務大臣会談

7月10日、リンケービッチ外務大臣は、ドブロブニク・フォーラム出席のため滞在中のドブロブニク(クロアチア)において、ゲルヴァラ・コソボ第二副首相兼外務・海外居住者大臣と会談し、二国間協力、多国間協力及びベオグラード・プリシュティナ間対話の動向について意見を交わした。リンケービッチ大臣は、西バルカン地域におけるEUのより積極的な関与に対するラトビアの支持を約束したほか、7月にラトビアがコソボ治安維持部隊(KFOR)に復帰することについて満足の意を表明した。ラトビアは、同活動に2000年から2009年まで参加し、2020年、これに復帰することを決定していた。

◆ラトビア・モンテネグロ外務大臣会談

7月10日、リンケービッチ外務大臣は、ドブロブニク・フォーラム出席のため滞在中のドブロブニク(クロアチア)において、ラドゥロビッチ・モンテネグロ外務大臣と会談した。リンケービッチ大臣は、モンテネグロ及び西バルカン地域全体のEU統合に対するラトビアの支持を改めて伝えた。また同大臣は、モンテネグロが、ラトビアに駐留するNATOの拡大された前方プレゼンス部隊への参加を通じ、地域の安全保障強化に貢献していることへの謝意を述べた。

◆リンケービッチ外務大臣のEU外務理事会出席

7月12日、リンケービッチ外務大臣は、EU外務理事会(於:ブリュッセル)に出席し、新技術の地政学的側面、エチオピアの状況及びEU戦略的コンパスの進展状況についてEU諸国の外務大臣等と意見交換した。EUで進められている大規模なデジタル化に関連し、同大臣は、ラトビアにとって、EUのデジタル主権を強化し、同盟国や考え方を同じくする国々との協力を進めるための共通点を模索し、デジタル分野における第三国への依存を軽減することが重要であると述べた。

◆リンケービッチ外務大臣のストルテンベルグNATO事務総長との会談

7月12日、リンケービッチ外務大臣は、NATO本部(ブリュッセル)において、ストルテンベルグNATO事務総長と会談し、6月に行われたNATO首脳会合(NATOブリュッセル・サミット)の成果、12月にリガで開催が予定されているNATO外務大臣会合及び地域並びに世界の国際安全保障状況について意見を交わした。安全保障上の課題に関し、同大臣は、

バルト諸国との国境及びウクライナにおけるロシアの攻撃的な軍事活動やベラルーシにおけるロシアの軍事的影響力の拡大は、安全保障上の課題が繰り返し地域に影響を与えていることの証拠であるとの見解を述べた。

◆新型コロナウイルスワクチンをチュニジアへ寄贈

22日、保健省は、国内にあるアストラゼネカ製ワクチンの在庫約5万回分をチュニジアへ寄贈すると発表した。現在の国内の在庫のうち、使用期限が迫っている上記約5万回分を寄贈する一方、同社製の残り約3万3000回分はラトビア住民の接種用として確保される。

ラトビア政府は、合計約16万6000回分のアストラゼネカ製ワクチンを外国へ寄贈することを決定しており、チュニジアのほか、寄贈先としてモルドバ、アルバニア及びケニア等が予定されている。

◆ベラルーシからの移民流入に際してリトアニアを支援

ベラルーシからリトアニアへの国境を越えた移民の劇的な増加に伴うリトアニアの危機的状況を受けて、23日、ラトビア内務省は、リトアニアへ支援品を提供することを発表した。テント、発電機、照明機器、毛布等の支援品を、ラトビア国家消防救急サービスがリトアニアへ届ける。ゴルベバ内務大臣は、ベラルーシの政権がリトアニア政府に圧力をかけるべくハイブリッド戦争の手法を使うことは容認できない、と述べた。

◆リンケービッチ外務大臣のEU総務理事会非公式会合出席

7月22日・23日、リンケービッチ外務大臣は、EU総務理事会非公式会合（於：スロベニア）に出席した。会合では、冒頭、議長国スロベニアが欧州理事会における優先事項を説明した後、新型コロナウイルスの危機後のEUの強靱性（resilience）に関する事項、また先を見据え、調整を高めつつ自立性を促す観点から、EUの備えをいかに拡大させるかについて意見が交わされた。リンケービッチ外相は、新型コロナウイルスの流行に際し社会を守るための安全策を導入することは必要だが、人権及び法の支配といった民主主義的価値観の維持が非常に重要であると強調した。

◆ラトビア・ウズベキスタン外相会談

7月28日、リンケービッチ外相は、カミロフ・ウズベキスタン外相とテレビ会議形式で会談し、二国間関係、EU・ウズベキスタン関係の発展及び中央アジアの状況等について意見交換した。両外相は、二国間の活発な政治対話及び建設的かつ実務的な協力を歓迎し、経済、貿易、教育、農業並びに文化面での協力の拡大及び人物交流の強化への関心を表明した。リンケービッチ外相は、疫学的状況が許せば、ハイレベルの往来を継続することに前向きな意向を示した。

— その他 —

【今月の注目記事】

◆東京オリンピック：ラトビアは3X3バスケットボールで金メダル、重量挙げ109kg級で銅メダル獲得

7月23日～8月8日の間、オリンピック「東京2020大会」が開催され、ラトビアから33名の選手が参加した。23日に行われた開会式では、テニスのイェレナ・オスタペンコ選手及び3x3バスケットボールのアグニス・チャバルス選手がラトビアの旗手を務めた。

東京オリンピックで初めて正式種目となった3x3バスケットボールでは、アグニス・チャバルス選手、エドガルス・クルーミンシュ選手、カールリス・パウルス・ラスマニス選手及びナウリス・ミエズィス選手によるラトビア・チームが、28日の決勝戦でロシア・オリンピック委員会（ROC）チームに勝利し、金メダルを獲得した。

男子重量挙げ109kg級では、ラトビアのアルトゥールス・プレースニエクス選手が合計410kg（スナッチ180kg、クリーン&ジャーク230kg）で銅メダルを獲得した。

このほか、ビーチバレーにおいてラトビア・チームは男女とも4位に入賞。レスリング女子フリースタイル62kg級ではラトビアのアナスタシア・グリゴレワ選手が5位に入賞した。

◆青年歌と踊りの祭典の開催

7月12日～29日の間、第12回青年歌と踊りの祭典が開催された。同祭典は、1960年に始まり、近年は5年に一度開催されてきたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2020年から1年延期しての実施となった。

同祭典は、通常ではラトビアの各自治体の参加者がリガに集合して開催されるが、今年は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、同祭典の使者が43の自治体を順に訪問し、参加者は各自治体において疫学的な規則を遵守した上でパフォーマンスを行い、それをビデオに収録してホームページ（<https://www.nacgavilet.lv/>）に掲載するという形で実施された。

2021年7月の主な出来事

	【内政】	【外交】
7月		<p>6月30日～7月2日、レヴィッツ大統領、オーストリア訪問。「オーストリア世界首脳会議2021」出席</p> <p>1日・2日、茂木外務大臣のラトビア訪問</p> <p>5日、カシス・スイス副大統領兼外務大臣、ラトビア訪問</p> <p>6日、ヴァルツィオティス・ギリシャ外務大臣代理、ラトビア訪問</p> <p>6日、リンケービッチ外務大臣、ガルノー・カナダ外務大臣と会談（於ビリニュス）</p> <p>7日、リンケービッチ外務大臣、第4回ウクライナ改革会議出席（於ビリニュス）</p> <p>7日、サンチェス・スペイン首相のラトビア訪問</p> <p>8日・9日、レヴィッツ大統領、ブルガリア訪問。第6回三海域イニシアティブ首脳会合及びビジネスフォーラム出席。8日、ラデフ・ブルガリア大統領と会談</p> <p>10日、リンケービッチ外務大臣、ドブロボニク・フォーラム出席（於クロアチア）。コソボ外務大臣、モンテネグロ外務大臣とそれぞれ会談</p> <p>12日、リンケービッチ外務大臣、EU外務理事会出席（於ブリュッセル）。ストルテンベルグNATO事務総長と会談</p> <p>22日・23日、リンケービッチ外務大臣、EU総務理事会非公式会合出席（於スロベニア）</p> <p>28日、リンケービッチ外務大臣、カミロフ・ウズベキスタン外務大臣と会談（テレビ会議）</p>

ラトビア主要経済指標

GDP

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
名目GDP(※1)	百万ユーロ	24,561	25,360	26,962	29,143	30,421	29,334	30,439	-	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP	ユーロ	12,421	12,943	13,890	15,129	15,901	15,431	-	-	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP/EU平均	%	65	66	67	69	69	72	-	-	EU統計局
実質個人消費/EU平均	%	66	67	68	69	70	-	-	-	EU統計局
GDP実質成長率(※2)	%	4.0	2.4	3.3	4.0	2.0	▲ 3.6	▲ 6.5	15.6(※4)	公式統計ポータル
GDP実質成長率(※3)	%	-	-	-	-	-	-	▲ 1.3	10.3(※4)	公式統計ポータル

(※1)四半期は季節調整値の年率、(※2)四半期は前期比年率、(※3)前年同期比(原数値)、(※4)暫定値

財政収支, 政府債務残高

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
財政収支	百万ユーロ	▲ 350	39	▲ 211	▲ 234	▲ 172	▲ 1,327	▲ 515	-	公式統計ポータル
財政収支対名目GDP比	%	▲ 1.4	0.2	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.6	▲ 4.5	-	-	公式統計ポータル
政府債務残高	百万ユーロ	9,105	10,245	10,519	10,816	11,247	12,750	13,430	-	公式統計ポータル
政府債務対名目GDP比	%	37.1	40.4	39.0	37.1	37.0	43.5	-	-	公式統計ポータル

失業率, 消費者物価上昇率, 月額平均賃金

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
失業率	%	9.9	9.6	8.7	7.4	6.3	8.1	8.1	7.9	公式統計ポータル
消費者物価上昇率(※)	%	0.2	0.1	2.9	2.5	2.8	0.2	▲ 0.1	2.3	公式統計ポータル
平均賃金(グロス)	ユーロ	818	859	926	1,004	1,076	1,143	1,207	-	公式統計ポータル
平均賃金(ネット)	ユーロ	603	631	676	742	793	841	891	-	公式統計ポータル
最低賃金(月額, グロス)	ユーロ	360	370	380	430	430	430	500	500	公式統計ポータル
世帯一人あたり可処分所得	ユーロ	417	437	489	546	583	-	-	-	公式統計ポータル

(※)四半期は前年同期比

対内直接投資(FDI)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	13,532	13,591	14,691	15,261	15,925	16,671	16,697	-	中央銀行

貿易統計

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	10,505	10,490	11,647	12,773	12,966	13,292	3,553	3,797	公式統計ポータル
輸入(CIF)	百万ユーロ	12,710	12,417	14,177	15,793	15,914	15,152	3,899	4,750	公式統計ポータル
貿易収支	百万ユーロ	▲ 2,205	▲ 1,927	▲ 2,530	▲ 3,020	▲ 2,948	▲ 1,860	▲ 346	▲ 953	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
日本への輸出	千ユーロ	39,592	48,524	50,526	53,343	56,637	49,479	12,827	12,716	公式統計ポータル
日本からの輸入	千ユーロ	20,405	18,974	22,282	25,668	27,999	21,736	5,987	5,185	公式統計ポータル
対日貿易収支	千ユーロ	19,187	29,550	28,244	27,675	28,638	27,743	6,840	7,531	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
ラトビアへの輸出	百万円	6,386	5,523	7,573	7,325	5,794	4,459	1,091	1,699	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	7,217	9,291	8,017	8,847	8,868	8,639	2,061	2,185	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	▲ 831	▲ 3,768	▲ 444	▲ 1,522	▲ 3,074	▲ 4,180	▲ 970	▲ 486	財務省統計

両国間の訪問者数

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
ラトビア→日本	人	1,803	2,484	2,487	2,551	2,701	393	1	-	日本政府観光局
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	21,575	23,191	24,576	29,534	20,416	2,358	34	51	公式統計ポータル

(注)ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した。2021年7月末現在、1ユーロ=130円程度。

(2021年8月17日まで公表分のデータ)